

かながわ環境大使（白井貴子さん）の環境コラム

温カナ！news 第23号 2025年3月14日配信

---

\*「エシカルファッションでGO！」\*

2025年の三寒四温はいつになく厳しいように思えます。

自然の力はほんとに凄いですね。

私は昨年10月から今年2月まで京都佛立ミュージアムで開催した「母 TSUNAGU 未来展2」延べ3000人の皆さんにお越しいただき、Mama ハンドメイドの私が生まれた時の産着や子供服、80年代ロックの女王時代を支えてくれた衣装、長年大切にしてきた世界、約200点を「Rock Queenの宝物」というサブタイトルで展示。

会期中、実際に「金継ぎ」や生ごみをゼロにする箱「バクテリア de キエーロ」のワークショップも葉山より生みの親の松本さんにお越しいただき開催！

ラッキーにも、その間に横浜と大阪でライブがあったので、展示していた80年代の衣装を「母 TSUNAGU 未来」の心で新しい服とミックスチャーしエシカルファッションでThe CRAZY BOYSのみんなで懐かしい楽曲を歌いました。

「白井さん！よくここまで保存していましたね！」と驚かれたり「失くしてしまった世界に懐かしさが込み上げてきました」と涙をこらえながら感想をいただき、私もうれし涙。経済優先の現代は「即結果」「新しさ」を求められることが多いですが、長年、私なりの物差し、価値観で大切にしてきた手作りの世界を、沢山の皆さんに見ていただき心より感謝しています。

願わくば我がふるさと神奈川県でも開催したいと思っています。

個展の最終コーナーは「ありがとう母なる大地」と題して10Rコーナー「もう3Rだけでは間に合わない！」というメッセージで展示。

最後の最後は、私が80年代、大阪のラジオ番組「ヤンタン」を卒業する時、スタジオの片隅のダンボールに破棄されているのを見つけもらってきたシングルレコードを展示しました。

これは決してヤンタンだけが悪いのではなく、きっとあの時代、世界中のラジオ局が「ヒットしてもしなくても3ヶ月したら機械的に破棄」していたのだと思います。でも私にとっては音楽は「心の糧」それを捨てるなんてとてもできませんでした。そしてその果てに音楽はジャケットとして抱きしめることができなくなった。

あの80年代、私もその時代の動きに従い、3ヶ月に一度シングルを出し、1年に一度「ア

アルバム」をリリースする DUTY WORK に心身共にボロボロになり「これは生身の人間 30 歳過ぎたら特に女子は無理！」と気づきロンドンへ移住、その後一時帰国した時、神奈川の実家で生まれた曲が「野生のマーガレット」です。

実は、この 2 回目の個展は私が生まれてから、ロンドンに移住する前までのお話。次回の個展は「野生のマーガレット」後の私のエコライフのお話を予定しています。エシカルとは「倫理的」という意味だそうです。今、地球に巻き起こっている世界はとてもエシカルとは思えない真逆で悲しいことばかり。だからこそ！みんなで「エシカルに GO！」命を大切に頑張りましょう！



「母 TSUNAGU 未来」展 2 ROCK QUEEN の宝物で展示した 80 年代「NEXT GATE」の衣装



2025 年 1 月の Zepp 横浜ライブで着用した 30 年前の衣装復活！